



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30
- ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 渡辺 文夫
- ◆副 会 長 / 渡辺 頼雄
- ◆幹 事 / 依田 晋一
- ◆広報・情報委員長 / 清水 泰男

NO. 1243 平成26年8月26日



◆点鐘	渡辺 文夫 会長
◆SAA	橋詰 希望 委員
◆ソング	それどころロータリー
◆ゲスト	中川博司様(第 2600 地区ガバナー)
	長岡秀秋様(東信第一グループ ガバナー補佐)

【会長挨拶】 渡辺 文夫 会長

本日は国際ロータリー第2600地区ガバナー中川博司氏をお迎えしての公式訪問例会です。ガバナー中川博司様は伊那ロータリークラブの所属です。遠距離から、ご訪問頂き、誠にご苦勞様です。感謝申し上げます。

ガバナーのご挨拶のなかでロータリアンの減少は著しく第2600地区においても最盛期の60パーセントまで減り、かつ会員の平均年齢は上がる一方で組織存続にとって極めて重大な課題ですと云うメッセージがありますが、全く同じ課題を我がクラブも抱えて居ります。このご挨拶のメッセージを見ました時には余りにも一緒に驚いた次第です。

先の8月19日の例会日には会員増強について前田委員長のお話をお聞きし会員全員が役員のもりになって頑張ろうと思って居ります。現状を打開出来る様より良い知恵を勉強させて頂きたく、よろしくご指導の程お願い致します。

8月23日(土)は塩尻の中村屋ホテルにて午前中は米山記念奨学会セミナー、午後、ロータリー財団セミナーに掛川興太郎委員長と二人で参加致し、一日勉強してまいりました。詳細については後日、発表致します。以上会長挨拶と致します。ありがとうございました。

【幹事報告】 依田 晋一 幹事

1. 佐久ロータリークラブよりホームページ及びアドレス変更について

ホームページアドレス <http://www.saku-rc.jp/>

メールアドレス mail@saku-rc.jp

2. 週報

南佐久、六文銭RC

【本日の配布物】

週報 1242 号、理事会報告

◆ラッキー賞

NO. 10 矢島 栄一君

◆ニコBOX 矢島 英夫 委員

小池平一郎君	中川ガバナー、長岡ガバナー補佐ようこそ。三男に孫が産まれました。女の子です。三人目の孫になります。
矢島 英夫君	ニコBOX係として少しボックスさせて頂きます。
渡辺 文夫君	中川ガバナー、長岡ガバナー補佐ご苦勞様です。
依田 晋一君	ガバナー、ガバナー補佐、ご指導有難うございます。
矢島 栄一君	ラッキー賞、久しぶりに頂きました。有難うございました。

次週のプログラム :

9月2日「新世代活動月間によせて」
奉仕プロジェクト委員会 矢島栄一委員長
次々週のプログラム:

9月9日「平均寿命を考えよう」
夏川 周介氏

【出席報告】 小山 盛夫委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 8月26日	22名	19名	事前0名	3名	84.21%
前々回 8月12日	22名	17名	事後0名	5名	75.00%

【本日のプログラム】 「ガバナー公式訪問」 国際ロータリー 第2600地区 ガバナー 中川 博司様



クラブ訪問に寄せて

自己紹介を申し上げます。私は18歳まで名古屋で育ちましたが、その後70歳になる今日まで、その大半は長野県伊那市で暮らしており、29歳でイナリサーチという医薬品開発支援の会社を立ち上げて、現在は会長という立場で会社に関与し、ロータリー歴としては伊那RCに所属して30年近くになります。ロータリアンとしては誠に不熱心な会員ではありましたが、何故かガバナーの責務を負うことになってしまいました。1年間、どうぞ宜しくお付き合いいただきますようお願い申し上げます。

願ひ申し上げます。

さて、本年度のRI会長、ゲイリーC. K. ホアン氏は、「ロータリーに輝きを」というRIテーマのもと、RI戦略計画のさらなる推進や会員増強、RI会長賞やロータリーデーの推進など、ロータリアン一人一人の活動努力によってロータリーが再び輝きを取り戻すよう強い決意を表明されています。それを受けて私は、「明日のために今こそ行動を」を地区の標語として掲げ、地区として行うべき7つの重点分野を地区プログラムに示しました。

これらは、クラブ会長へのミッションでもあり、行動のための指標です。したがって私は、この指標をもとに、常に「どうですか、前進していますか」と問いかけることになります。

新会員に対する研修やクラブのIT化、クラブ間協働による奉仕活動の推進など(地区プログラムご参照)、通常の年度にはない新たなミッションもありますがいずれも極めて重要です。1年で出来ることはほんの限られた範囲ですが、それを積み重ねることで、ロータリーの確かな前進が見えてきます。

「超我の奉仕」はもっとも核心的なロータリアンのマインドです。皆様には大変ご苦勞をおかけしますが、あなたもロータリーの歴史の一步を標す存在となってくださるよう切にお願い申し上げます。

